

「がん免疫療法の進展と将来展望」

- 日 時 2015年11月25日(水) 10:00~15:40
 ■ 場 所 千里ライフサイエンスセンタービル 5階 山村雄一記念ライフホール
 (大阪府豊中市、地下鉄御堂筋線 千里中央駅北口すぐ、大阪モノレール 千里中央駅下車 徒歩約5分)

■ 趣 旨

抗 CTLA-4 抗体、抗 PD-1 抗体の抗腫瘍効果は世界を驚かせ、遺伝子改変 T 細胞療法、中でも CD19 を標的にした CAR-T 細胞療法は CD19 陽性造血器腫瘍において極めて高い奏効率を示しています。これらの免疫療法の登場により、米国では既に免疫療法ががんの標準治療の仲間入りを果たしたかのような勢いがあります。そんな中、本シンポジウムでは、日本で主に開発が進んできたがんペプチドワクチン療法は生き残れるのか？を前座として、免疫チェックポイント関連薬の臨床成績と今後の展開、日本発の抗 CD4 抗体療法の開発、遺伝子改変 T 細胞療法の臨床成績と日本発の FITC-CAR-T 細胞療法の開発、さらには、日本がリードする iPS 細胞由来免疫細胞療法のがん治療への応用について、6 人の演者にご講演いただきます。会場と一体となって、日本発の有効ながん免疫療法を一つでも多く開発するぞという機運を高めたいと思っておりますので、皆様ご参集のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

■ コーディネーター

国立がん研究センター 先端医療開発センター 免疫療法開発分野 分野長 中面 哲也
 山口大学医学部大学院 医学系研究科 免疫学 教授 玉田 耕治

■ プログラム

- 10:05~10:15 はじめに 中面 哲也 (国立がん研究センター 先端医療開発センター 分野長)
 10:15~10:55 がんペプチドワクチン療法は生き残れるのか？
 中面 哲也 (国立がん研究センター 先端医療開発センター 免疫療法開発分野 分野長)
 10:55~11:35 免疫チェックポイント関連薬の臨床成績と今後の展開
 北野 滋久 (国立がん研究センター中央病院 先端医療科 先端医療開発センター
 新薬臨床開発分野/免疫療法開発分野(併任) 医員)
 11:35~12:15 日本発抗 CD4 抗体療法の開発
 松島 綱治 (東京大学大学院医学系研究科 分子予防医学 教授)
 (昼食休憩 12:15 ~ 13:30)
 13:30~14:10 遺伝子改変 T 細胞療法の臨床成績、FITC-CAR-T 細胞療法の開発
 玉田 耕治 (山口大学医学部大学院医学系研究科免疫学 教授)
 14:10~14:50 iPS 細胞由来のミエロイド細胞による胃がん腹膜播種治療法の開発
 千住 覚 (熊本大学大学院生命科学研究部 免疫識別学分野 准教授)
 14:50~15:30 iPS 細胞に由来する再生 T 細胞療法の開発
 金子 新 (京都大学 iPS 細胞研究所 准教授)
 15:30~15:40 おわりに 玉田 耕治 (山口大学医学部大学院医学系研究科免疫学 教授)

- ◎ 定 員 200名 (申込順)
 ◎ 参加費 無料 (事前申込が必要です)
 ◎ 申込方法 氏名、所属、〒住所(連絡先)、電話番号、E-メールアドレスを明記の上、E-メールで下記宛てお申込み下さい (FAX、郵便も可)。
 ◎ 申込先 公益財団法人 千里ライフサイエンス振興財団 セミナーJ4係
 E-mail : tnb@senri-life.or.jp FAX : 06-6873-2002

〒560-0082 大阪府豊中市新千里東町 1-4-2 千里ライフサイエンスセンタービル 20 階
 TEL : 06-6873-2001 (URL : <http://www.senri-life.or.jp>)